

<参考>様式第2号

平成29年2月24日

豊明市議会議長 殿

### 行政等視察報告書



28年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
平成29年1月25日	長崎県長崎市	地域おこし協力隊について
平成29年1月26日	熊本県益城町	災害時における議員の役割と現地視察
平成29年1月27日	鹿児島県鹿児島市	子育て支援センター・りぼんかん

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

## 会派行政視察報告書

実施日 平成 29 年 1 月 25 日～27 日

視察先 ① 長崎県長崎市役所

② 熊本県益城町役場

③ 鹿児島県鹿児島市すこやか子育て交流館りぼんかん

参加者 会派ひまわり⇒毛受明宏・三浦桂司・近藤郁子・鶴飼貞雄

※公明党市議団と合同実施

提出者 毛受明宏

### ① 長崎間長崎市「地域おこし協力隊」について

地域おこし協力隊とは？総務省が行う制度で都市地域から過疎地域へ住民票を移していただき地域での活力と魅力を掘り起こしてもらい地域の皆様と一緒に地域活動の活性化に取り組んでいただき、その後隊員の皆さまにはその地域へ定住をしていただき人口の増加も合わせてやっていく制度。

長崎市は平成 23 年度から 5 地区(高島地区・野母崎地区・伊王島地区・外海地区・琴海地区)に隊員が入り、現在の隊員はそれぞれの地区で 2 期目の隊員が入っている。

5 地区が平成の大合併の時に合併し、平成 17 年に合併した 6 地区と 18 年に 1 地区の合計 7 地区が合併した周辺部 5 つの地域に協力隊を配置。

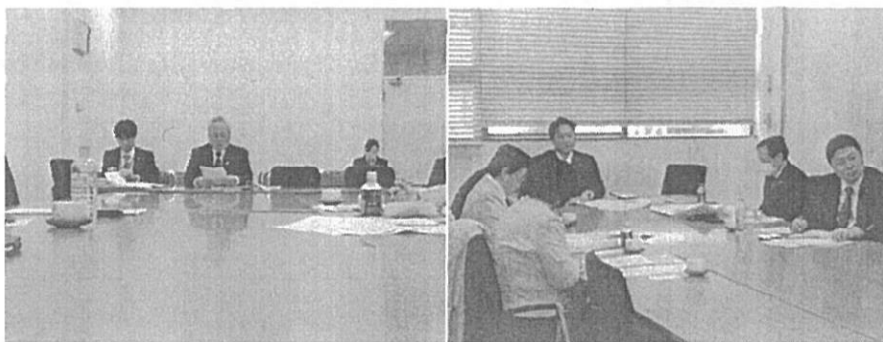
#### ・主に定住された隊員のその後

『高島地区』人口 380 人・高齢化率 52.4%・主な産業は水産業と農産業他、長崎港から 30 分の沖合に浮かぶ離島で長崎市と合併するまでは日本で一番小さな町でした。

当地区での協力隊員は前住所が東京都・前職は飲食店経営、平成 23 年にサンゴ礁シュノーケリング体験などのツーリズム活動を実施する「やったろう de 高島」の活動支援と市民農園整備⇒任期終了後は長崎市内でカフェ、他に蕎麦屋を改装し週末カフェを開業。高島地区活性化の情報発信を中心に関わっている。

『外海地区』人口 3,749 人・高齢化率 47.1%・主な産業は農業と観光業他、長崎市の北西部に位置し、西は五島灘に面し、西側洋上には池島などの大小の島が点在している。

当地区での協力隊員は前住所が埼玉県・前職は写真家ライター、平成 23 年に池島まんじゅう、池島炭鉱弁当などの特産品の開発を実施している地域おこし団体「ステップ UP 池島研究会」の活動参加と産業遺産(炭鉱施設)観光 PR 等⇒任期終了後は長崎大学インフラ長寿命化センターの研究者として活動、池島の活性化情報発信を中心に関わっている。



#### ・まとめ

平成の大合併後、流出や高齢化により人口減少に苦慮する地域が点在する長崎市で現在は 2 期目の隊員が各地区の活動に参加している。

都心にて活性化の考えを持つ人の発掘は難しいものであるが、見つかった時は逆に新しい考えが地域に新鮮な流れを作る、そんな気がします。

② 熊本県益城町「災害時における議員の役割と現地視察」について

平成 28 年熊本地震における益城町の被害状況等

4 月 14 日に発生した地震

発生日時 平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分頃

震源地:場所・規模・震度 熊本県熊本地方 M7.3 震度 7(益城町)

4 月 16 日に発生した地震

発生日時 平成 28 年 4 月 16 日 1 時 25 分頃

震源地:場所・規模・震度 熊本県熊本地方 M7.3 震度 7(益城町)

4 月 14 日から震度 6 弱以上が 7 回発生している。

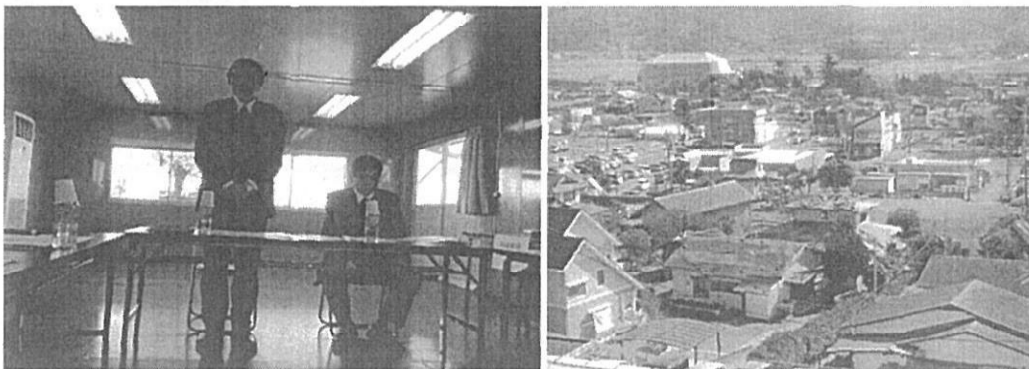
熊本地震(益城町)の被害の特徴として、元々熊本県は自身が少ない県であったが台風上陸は多い。そのため九州全域で特徴となる家屋の構造体として屋根が重たい構造となっていたのが倒壊半倒壊の要因に繋がっている。

発生後に住民を一番困らせたのが情報伝達で、それは今現在においても情報の行き届かない地区もあり、罹災証明等の発行に大変苦慮している。

議会議員としては、議長一人が議会全体の情報を集約し、行政に伝える。議長は何日も帰宅する事なく集約伝達に専念した。

益城町の議員選出は各地区均等に選出されており、議長以外の議員も地元地区を中心に情報伝達からケアに努め議長へその都度報告をしている。

職員においても被災者の対応で休む時間も無く精神的なケア対応者も続出した。



※情報集約に苦慮した益城町議長と議会事務局長・被災した家屋が今もなお目立つ益城町  
・まとめ

豊明市においても東海・東南海・南海地震発生において震度 6 弱が予測されている。阪神淡路大震災を含めこの 10 年で大小数々の地震発生しているが、豊明市の場合を考えるとどの様な被害の発生かは予測しきれないが、備えにおいて日頃の情報伝達手段は考えておくべきである。それは町内の範囲から家族内の情報伝達手段まで。日頃のご家庭で緊急時の話を取る事の重大さを感じる日は明日かも知れません。

③ 鹿児島県鹿児島市(すこやか子育て交流館りぼんかん)

「すこやか子育て交流館りぼんかん」とは、子育て中の親の不安感や負担感を軽減するとともに、子育てや家庭や団体等の活動をさまざまな角度からサポートする総合的な子育て支援の拠点施設で「ひろがる笑顔・支え合う子育て」をコンセプトに親子が気軽に集い、相互に交流する場を提供するとともに、育児相談や子どもの一時預かり、子育てに関する情報の発信や関係団体等との連携・情報の共有化を行い、地域の子育て支援機能を担っている。

施設利用者としては小学校 3 年生までと及びその家族、妊娠中の者及びその方に同伴する人、子育て支援に係る活動を行う人、子育てに係る相談等を希望する人

元々市職員の福利厚生施設で室内 1 階には元々入浴場の場所をジャブジャブ広場(水遊び)、さらさら広場(砂遊び)に、別館は元々体育館だった施設をふれあいランド(遊具広場)とママサロン、上階は宿泊部屋で棟ごと改装し会的な子育て拠点施設となっている。



・まとめ

元々が市職員の福利厚生施設とあって間取りがよく、回収も容易な施設でした。豊明市においても子育て拠点施設の整備を進めて子育て支援の拡充に努めなければならないと思う。